

第35回



「ハハコグサ」代表  
くわばら さとみ  
桑原 恵弥 さん（松本）

富士青春市民になって、  
一緒に富士市を盛り上げよう!!

このコーナーでは「いただきへの、はじまり」を  
胸に頑張る“富士青春市民”を紹介します！

いただきへの、はじまり 富士市

# We are 青春市民

富士青春市民を随時募集中です

富士青春市民

検索



◀市公式YouTubeでも紹介しています

## 活動を始めたきっかけは？

「ハハコグサ」は流産・死産など様々な理由で生まれてくることができなかった赤ちゃんのママ・パパをサポートする自助グループです。赤ちゃんが生まれた後には様々なサポート体制が整っていますが、生まれてくることができなかった赤ちゃんのママ・パパには、十分なサポートがないのが現状です。赤ちゃんを失った人の中には、誰にも気持ちを打ち明けられず一人で悩んだり、責任を感じて自分自身を責めたりする人も少なくありません。また、周囲の人も気を遣って声をかけることができず、結果として孤独になってしまいます。

私自身も、一卵性双生児を亡くす経験をし、同じような悩みや思いを持つ人と共感し合える場が必要だと強く感じ、昨年10月4日（天使の日）に「ハハコグサ」を立ち上げました。

## 「ハハコグサ」の活動内容は？

当事者がそれぞれの経験や思いを語り合う場として、お話を定期的に開催しています。今年3月には、当事者や支援者の皆さんが風船に



メッセージを書き、空にかえった子どもたちに向けて飛ばすバルーンリリースを行いました。

悩んでいる人を一人にしないで、みんなで支え合えるまちにしたい！



今後も、参加者が自分の気持ちに向き合える機会をつくるほか、このような自助グループを閉鎖的なイメージではなく、必要な人にとっていつでも開かれている存在として認識してもらえるよう努力していこうと思っています。

## 今後の目標は？

私たちの活動をきっかけに、今後、いろいろなところで同じような活動を行う場が増えていくことを願っています。そして、当事者以外にも多くの人に活動を知ってもらい、いろいろな人がつながることで支え合いの輪が広がってほしいと考えています。つらい思いをしている人を一人にしないで、周囲の人たちで支えてあげる。そんな活動を次世代につなぎ、今の子どもたちが大人になっても笑顔で過ごせるまちになったらうれしいですね。



私にとって実家のような名花堂。  
おいしいご飯と温かい皆さんに、  
いつも元気をもらっています！

## こちら編集室「富士市ならではのシトラスリボン」

今回、まちかどネットワークのコーナーで紹介した「紙バンドのシトラスリボン」。どれにしようか悩んでしまうほど、様々な色の紙バンドで作られています。会の皆さんと一緒に「差別や偏見がなくなるように」「コロナが収束するように」と願いたいと思うとともに、紙のまち富士市をPRするすてきなアイテムだと思い、私はシトラス色のものを氏名票につけています。市役所2階の総合案内でも配布しています。市役所にお越しの際はぜひ立ち寄っていただき、富士市ならではのシトラスリボンを手にとってみてください。(け)

【人口と世帯】4月1日現在  
人口：251,616人（前月比+505）  
男124,690人 女126,926人  
世帯：108,586世帯（前月比+214）

【編集・発行】（毎月5日・20日発行）  
総務部シティプロモーション課広報広聴担当  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
☎0545-55-2700 ☎0545-51-1456  
※市役所の開庁時間は平日8:30～17:15。

富士市コールセンター

おしえて  
コールふじ

☎53-1111

受付時間／8:30～18:00  
受付日／年末年始除く毎日